

第 80 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 22 年 11 月 18 日 (木) 14 時 00 分～15 時 55 分

II 出席者 議長 山田学長

評議員 清水、赤平、森本、鈴木、五十嵐、阿部、川那部、江口、村上、大田、東、五十殿、植松、畔上、本澤、小川、田林、喜多、中山、大塚、阿江、玉川、波多野、宇川、西川、永田、井上、板野、大高、朝岡、金保、舂本、深水、BENTON、漆原

代理出席 八畑学生生活支援室副室長(加賀学生生活支援室長代理)

III 議 題 等

〔審 議〕

- (1) 地域の医師確保等の観点からの医学群医学類の入学定員増について ----- [審資料 1]
- (2) 筑波大学「社会連携講座」について ----- [審資料 2]

〔報 告〕

- (1) 第 40 回経営協議会報告 ----- [報資料 1]
- (2) 平成 21 年度に係る業務の実績に関する評価結果について ----- [報資料 2]
- (3) 第 2 期中期目標期間における組織評価の実施に向けた検討について ----- [報資料 3]
- (4) 大学機関別認証評価訪問調査の実施について ----- [報資料 4]
- (5) 世界大学ランキング結果について ----- [報資料 5]
- (6) 筑波大学研究者情報システム (TRIOS) における名誉教授の研究者情報のアーカイブ化による公開について ----- [報資料 6]
- (7) 社団法人「大学 ICT 推進協議会」設立発起人大学への参画について ----- [報資料 7]
- (8) 副学長の数、業務分担等について ----- [報資料 8]
- (9) 学術研究懇談会 (RU11) 研究担当理事・副学長懇談会等について ----- [報資料 9]
- (10) 国立大学法人筑波大学つくばイノベーションアリーナ (TIA) 推進室の設置について ----- [報資料 10]
- (11) 平成 22 年度補正予算 (第 1 号) 案の概要について ----- [報資料 11]
- (12) 「元気な日本復活特別枠要望」に関するパブリックコメントの結果等について -- [報資料 12]
- (13) 平成 22 年度第 2 次学内補正予算について ----- [報資料 13]
- (14) 筑波大学基金 (FUTURESHIP) の給与控除について ----- [報資料 14]
- (15) 筑波大学基金募金活動倫理方針及び筑波大学基金募金活動ガイドラインの制定について ----- [報資料 15]
- (16) 特定基金の設置に関する事項の制定について ----- [報資料 16]
- (17) 筑波キャンパス CO₂ 排出量・エネルギー使用量実績 (10 月分) について ----- [報資料 17]
- (18) 電子メールにおける件名の英字併記及び業務電子メールガイドラインについて - [報資料 18]
- (19) 嘉納治五郎先生像除幕式について ----- [席上配布資料]
- (20) 第 4 回つくば 3 E フォーラムの開催について ----- [席上配布資料]
- (21) 頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラムの採択結果について

IV 議 事

〔審 議〕

1～2 審議資料 1～2 に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

〔報 告〕

- 1 報告資料 1 に基づき報告があった。
なお、学長から、経営協議会外部委員の意見が紹介された。
- 2～8 報告資料 2～8 に基づき、それぞれ報告があった。
- 9 報告資料 9 に基づき、最近行われた RU11 の会合の内容について報告があった。
なお、櫻井財務副大臣からの各大学への要望として、大学の機能分化や国際競争力の強化、地域の特性に合った学部配置、科学研究費補助金使用のチェック体制の強化、若手研究者の育成、研究者の異動の活性化等が述べられた旨の補足説明があった。
また、グローバル COE や G30 の事業仕分けに対する取り組みについて報告があった。
- 10～11 報告資料 10～11 に基づき、それぞれ報告があった。
- 12 報告資料 12 に基づき報告があった。
なお、学長から、平成 24 年度予算編成に係るパブリックコメント結果が適正に反映されるよう、国立大学協会として要望を申し入れることとなった旨の報告があった。
また、この結果について、学生にも周知してほしい旨の要請があった。
- 13 報告資料 13 に基づき報告があった。
- 14～16 報告資料 14～16 に基づき、それぞれ報告があった。
なお、本件に関連して、現職教職員からもより多くの寄附が寄せられるよう協力願いたい旨の発言があった
- 17 報告資料 17 に基づき報告があった。
なお、東京電力側により CO₂ 排出係数が変更された結果、今年度の CO₂ 排出目標の達成に近づいた旨の補足説明があった。
- 18 報告資料 18 に基づき報告があった。
- 19～20 それぞれ席上配布資料に基づき報告があった。
- 21 頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラムの採択結果について報告があった。

以 上